地域再生計画

１　地域再生計画の名称

第２期飯南町まち・ひと・しごと創生推進計画

２　地域再生計画の作成主体の名称

島根県飯石郡飯南町

３　地域再生計画の区域

島根県飯石郡飯南町の全域

４　地域再生計画の目標

本町では、総人口 7,771 人だった 1980 年から、2020 年までの 40 年の間に総人口が４割（3,194 人）減少している。2010 年からは平均 100 人/年が減少し、2020 年には 4,577 人となった。

国立社会保障・人口問題研究所によると、2045 年には、さらに４割が減少し 2,853 人になると推計されている。

年齢３区分別の人口動態をみると生産年齢人口（15～64 歳）は 1975 年の 5,241 人をピークに、以降一貫して減少傾向が続き、2020 年までの 45 年間に 3,243 人が減少した。年少人口（０～14 歳）も、1975 年以降、一貫して減少傾向が続き、1980 年には老齢人口（65 歳以上）を下回っている。なお、2024 年４月１日には生産年齢人口 1,773 人、年少人口 392 人、老年人口 2,033 人となっている。

本町の自然動態をみると、1980 年から 2020 年の間に年少人口は７割減少しており、総人口より早いペースで減少している。第２次ベビーブーム直後である 1975 年では 102 人だった出生数は、2019 年から 2023 年までの５年間で平均 19.4 人/年まで減少した。その一方で、死亡数は概ね 100 人程度で推移しており、出生数から死亡者数を差し引いた自然増減は 2023 年で▲79 人（自然減）となっている。

社会動態をみると、移住・定住対策に注力してきたことにより、2010 年以降は転入が多く社会増になる年もあり、特に 2017 年には転入者（173 人）が転出者

（145 人）を上回る社会増（28 人）であった。近年の社会動態はほぼ均衡した状況にある。

このように、ＵＩターン施策による転入者の維持に取り組んでいるが、出生数の減少（自然減）に加え、就職時に町内に戻ってくる若者が減少することで、さらに少子高齢化が加速することが考えられる。これにより、あらゆる産業分野における担い手確保が一層困難になることで、地域の経済活動はさらに縮小することが考えられる。

また、本町では、出雲大社神楽殿の大しめ縄の制作が行われる等、しめ縄づくりの技法と伝統が受け継がれているほか、各地区で行われる囃子奉納等、郷土の文化が根強く守られている。中学生・高校生へのアンケート調査では、10 年後の飯南町の姿として「自然環境・景観が保全されている」「伝統・祭り・歴史文化が継承されている」ことが望まれており、本町の伝統・文化、自然環境・景観を守り、生命地域宣言の理念のもと新しい価値を創造していくことが求められている。

まちづくりの将来像を実現するためには、人口減少に歯止めをかけ、地域の活力が維持され、自治体運営が長期にわたって安定的に保たれるよう、一定の人口規模を確保していく必要がある。人口を維持するためには、雇用をつくり定住を促進し、子育て環境を整え出生数を増加する必要がある。また、地域の活力を維持するため、高齢者が自立し活躍できることも必要となる。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

これらの課題解決のために、以下の目標を掲げて取り組む。

・基本目標１　安定した雇用を生み出す産業をつくる

・基本目標２　新しいひとの流れをつくる

・基本目標３　結婚・出産・子育ての希望をかなえる

・基本目標４　住み続けられる魅力的なまちをつくる

【数値目標】

５－２の①に	ＫＰＩ	現状値（計画開始時点）	目標値（2029年度）	達成に寄与する地

掲げる事業				方版総合戦略の基本目標
ア	農業法人数	30法人 （認定農業者41人	33法人 （認定農業者44人	基本目標1
	新規就農者数	１人/年	１人/年	
	リースハウス整備棟数	55棟	76棟	
	繁殖雌牛頭数	229頭	260頭	
	産直事業の売上	126,946千円/年	127,000千円/年	
	原木生産量（公有林施業）	2,080㎥ (2020-2023平均)	3,700㎥ (2024-2028平均)	
	事業承継企業数	２	15 (2025-2029累計)	
	創業支援事業数	２	10 (2025-2029累計)	
	エコロジー米取組面積	158.0ha	400.0ha	
	森林セラピー利用者数	516人/年	720人/年	
イ	保小中高一貫教育に対する保護者の満足度	85%	90%	基本目標2
	保小中高一貫教育に対する生徒の満足度	90%	90%	
	小中学校におけるタブレットなどのＩＣＴ機器の活用	94%	100%	
	飯南高校生と地域住民の交流・協働回数	35回/年	50回/年	
	飯南高校３年生の（第２希望までの）進路実現率	92%	95%	
	飯南高校から島根県内進学・就職者の割合	25%	33%	

	入込観光客数	370,937人	408,000人	
	のべ宿泊客数	10,001人	10,300人	
	ふるさと納税件数と納税額	4,923件・177,449千円 (2019-2023平均)	6,000件・180,000千円 (2025-2029平均)	
	ＵＩターン希望者の相談件数	175 (2020-2023平均)	300 (2025-2029平均)	
	Ｕターンの移住者数	6 (2020-2023平均)	13 (2025-2029平均)	
	Ｉターンの移住者数	33 (2020-2023平均)	40 (2025-2029平均)	
	ホームページ記事数	326件/年	350件/年	
	町政座談会・まちづくり懇話会開催数	５回/年	10回/年	
ウ	子どもがいる世帯数	315世帯	320世帯	基本目標３
	お引き合わせ回数（結婚支援）	32回/年	50回/年	
	結婚祝金支給件数	２組/年	10組/年	
	飯南町文化協会の会員数	149人	150人	
	学校教育における地域とのつながりを感じる割合	90%	90%	
	体育施設の利用者数	14,658人	16,000人	
	図書館貸出冊数	12,539冊	15,600冊	
	ソフトボール第1種公認審判員（記録員）の育成数	０名（０名）	８名（４名）	
	保小中高一貫教育に対する保護者の満足度（再掲）	85%	90%	
	保小中高一貫教育に対する生徒の満足度（再掲）	90%	90%	
	小中学校におけるタブレットなどのＩＣＴ機器の活用（再掲）	90%	90%	

	飯南高校生と地域住民の交流・協働回数（再掲）	35回/年	50回/年	
	飯南高校３年生の（第２希望までの）進路実現率（再掲）	92%	95%	
	飯南高校から島根県内進学・就職者の割合（再掲）	25%	33%	
エ	人権研修会の参加者数	126人	200人	基本目標4
	特定健診の受診率	54.9%	60.0%	
	飯南病院・来島診療所の常勤医	８名	８名	
	訪問件数（訪問看護・訪問リハビリ）	242件/月	300件/月	
	医療・福祉・介護職人材数	474人	480人	
	一人当たりの医療費（国保）	603,846円	530,000円	
	医療・保健・介護従事担い手確保者数	10人	15人	
	長生き体操・地区サロン・認知症サロンの数	76箇所	80箇所	
	高齢者見守りシステム協力者数	120人	140人	
	公共交通利用者数	33,170人（内デマンド4,112人）	30,500人（内デマンド4,700人）	
	上水道接続率	93.5%	95%	
	下水道接続率	90.4%	91%	
	消防団員数	242	260	
	防災士養成者数	49	70	
	交通安全に関する啓発イベントの回数	３回/年	３回/年	
	森林整備（植栽・保育）面積（公有林施業）	41ha (2020-2023平均)	50ha (2024-2028平均)	

	ＣＯ２排出量	42,200t (2021年)	27,900ｔ	
	キエーロコンポスト設置戸数	０個	200個	
	Ｊ-クレジット販売量	395t	500t	
	地域づくり講演会、人材育成講座参加者数（延べ人数）	170名	200名	
	地域活動への住民の参加割合	60.8%	70.0%	
	地域おこし協力隊・集落支援員の数	８人	10人	
	町の行政に関心がある町民の割合	58.1%	70%	
	ホームページ記事数（再掲）	326件/年	350件/年	
	町政座談会・まちづくり懇話会開催数（再掲）	５回/年	10回/年	

５　地域再生を図るために行う事業

５－１　全体の概要

５－２のとおり。

５－２　第５章の特別の措置を適用して行う事業

○　まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【Ａ２００７】

①　事業の名称

第２期飯南町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア　安定した雇用を生み出す産業をつくる事業

イ　新しいひとの流れをつくる事業

ウ　結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ　住み続けられる魅力的なまちをつくる事業

②　事業の内容

ア　安定した雇用を生み出す産業をつくる事業

若い担い手が就業したくなる仕組みづくりや、町産材を活用した新たな

産業を創出する取組のほか、既存の産業を守るため、事業承継支援等、様々な雇用の選択肢を確保するための取組を推進する事業。

地域産業を活性化させるためにも、電子地域通貨を活用し、地域経済の好循環創出に取り組む事業。

【具体的な事業】

・就農希望がかなえられるよう、受け入れ先の確保や就農者の育成支援の充実

・農畜産施設やリースハウス団地、集出荷施設の整備

・林業振興に取り組む地域商社に伴走し、町産材活用の新たな魅力化

・「日本一大しめ縄の里 飯南町」として、各種メディアや包括連携協定先との協同により、付加価値・ブランド化

・電子地域通貨の安定的な運営を支援し、地域内経済の好循環化の推進等

イ　新しいひとの流れをつくる事業

Ｉターン希望者のニーズに応じたきめ細やかな支援を充実させるとともに、出身者がUターンしたくなるような取組もあわせて実施し、飯南町にゆかりのある人との関係強化にも取り組みながら、ふるさと納税等を通じて魅力を発信し、新たな飯南町ファンづくりに取り組む事業。

飯南高校魅力化により、生徒を確保するとともに、地域との交流機会の創出、卒業後の繋がり等、飯南町に関り続けてもらう仕組みづくりに取り組む事業。

【具体的な事業】

・スキーやキャンプ、シャワークライミング、登山、サイクリング等、町内資源を活用した自然体験の場を充実させ観光誘客の推進

・町ホームページの情報蓄積・発信機能強化を図るため、新規情報掲載の徹底

・町営住宅・定住住宅の整備や、空き家の有効活用等住まいの支援に取り組むとともに、飯南町定住支援センターを中心とした包括的な支援体制の充実

・教育環境基本計画を策定し、今後の人口減少や少子化に対応できる飯

南町にふさわしい教育環境づくりの推進　　等

ウ　結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

出会いの機会の創出や、妊娠前から子育てまで切れ目のない相談・支援体制を充実させるとともに、ふるさとを誇りに思い、これからの社会を生き抜く創造力のある人材を育てるため、ＩＣＴ活用授業を推進する等、充実した教育環境の整備に取り組む事業。

【具体的な事業】

・縁結び支援員を配置し、結婚希望者の相談、婚活支援、紹介活動を推進

・飯南病院での小児診療の維持とともに、飯南病院と連携した病児・病後児保育の取組

・ＩＣＴ活用授業をはじめとする教育の情報化を推進し、主体性、探究力、思考力を高め、これからの地域社会に貢献できる人材を育成

・地域課題を洗い出し、その課題解決策を考え、地域で貢献できる人材の育成　　等

エ　住み続けられる魅力的なまちをつくる事業

生活基盤となる道路・ライフライン・公共交通・通信施設等の維持整備に努めながら、災害に対する備えにも取り組むとともに、住み慣れた地域でもそのひとらしく暮らし続けられるよう、保健・医療・介護・福祉分野が連携した相談・支援に取り組む事業。

これからの生活に直結する分野や行政サービスにおいて、利便性の向上を目指してデジタル技術の活用を進めるとともに、誰もがデジタル技術の恩恵を受けられるよう、デジタルの扱いが不安な人にも寄り添う仕組みづくりを進める事業。

【具体的な事業】

・生活の基盤となる道路網を計画的に整備し、適正な維持管理

・暮らしが便利になるデジタル技術の活用

・保健福祉センターに設置した「全世代型総合相談窓口」で、あらゆる世代の保健・医療・介護・福祉の相談支援

・エネルギーと経済の地域内循環のための手法として、森林等地域資源

を生かした脱炭素の取組の推進　　等

※　なお、詳細は第３期飯南町総合戦略のとおり。

③　事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（ＫＰＩ））

４の【数値目標】に同じ。

④　寄附の金額の目安

400,000 千円（令和７年度～令和 11 年度累計）

⑤　事業の評価の方法（ＰＤＣＡサイクル）

本計画を担った「飯南町総合振興計画等評価委員会」を計画の進捗管理組織として位置づけ、毎年度９月頃までにＫＰＩをもとに施策効果を検証し、改善していく。検証後速やかに本町公式ホームページ上で公表する。

⑥　事業実施期間

2025 年４月１日から 2030 年３月 31 日まで

６　計画期間

2025 年４月１日から 2030 年３月 31 日まで